

#### 第4期 令和2(2020)年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第2回全体会 議事概要

日 時 2020年8月28日(金) 10:00~12:00

場 所 新宿区役所 人材育成センター2階 研修室B

出席委員 毛受委員、稲葉委員、小林委員、郭委員、長谷部委員、田中委員、岩澤委員、申委員、張委員、李(香)委員、金(勲)委員、奥田委員、センブ委員、ドウラ委員、朴委員、江副委員、鈴木委員、金(朋)委員、盛委員、安藤委員、李(承)委員、那波委員、本多委員、平野委員、伊藤委員、井上委員、内田委員 27名

欠席委員 パウデル委員、栗原委員、ディン・マイ委員、植木委員、國谷委員 5名

#### 1 開会

#### 2 会長あいさつ

#### 3 新宿区多文化共生まちづくり会議審議結果報告について

##### (1) 審議結果報告

- ・ 「しんじゆく多文化共生プラザの活用による多文化共生のさらなる推進」という今期のテーマが設定された背景、外国人人口の推移、プラザで行われている事業を確認した。
- ・ プラザで行っている事業を機能と捉え、外国人相談、日本語学習支援、情報提供、イベント開催、ネットワーク機能の充実及び周辺民間団体との関わり、多文化共生意識の醸成の順に検討した。
- ・ 機能別の検討を経て、次のような提言となった。

外国人相談については、迅速に専門機関につなぐなどの役割を適切に果たし、外国人住民と連携してプラザの外国人相談を周知する必要があることを提言した。日本語学習支援では、区は困っている初級者向けに重点を置くこと、不安を取り除き地域の一員となるための役割が求められること、地域の日本語教室全体の情報を提供することの重要を指摘した。情報提供では、外国人コミュニティとの連携が重要であり、プラザ独自の多言語によるウェブサイトの創設が求められることを述べた。イベント開催では、外国人に日本文化を知ってもらうこと、日本人が外国や世界に興味を持てる交流イベントを行うこと、新宿で新たに生活を始める外国人にとって必要な情報を提供することを提言した。ネットワーク機能の充実及び周辺民間との関わりについては、様々な地域の団体のネットワークの中心になるなど、多文化共生のコーディネーター的な役割を果たすことを指摘した。多文化共生意識の醸成では、町会などの地域団体、外国人コミュニティ、大学などさまざまな組織との連携を深め、多文化共生を下支えする基礎的な理解を醸成する機会を創出するべきことを提言した。プラザの運営については、この提言にあることを実際に運用していくために、専門性と経験を有する職員の配置又は増員による機能強化が必要であ

る旨を述べた。

- ・ おわりにとして、プラザは、つなぐ役割や地域での交流活動のコーディネート機能に一層の重点を置くべきこと、新宿に住む多くの外国人青年の存在が新宿の活力や魅力を形成する重要な要素であることを改めて認識し、必要な人材の適切な増強に期待することを記した。併せて、立地に関してよりアクセスしやすい場所への移転を求める意見があったこと、新型コロナウイルス感染症の広がりの中、外国人には情報や支援が届きにくいことが明らかになり、この点への配慮が必要であることを指摘した。

※ 詳細は報告書のとおり

#### 4 各委員からのコメント

各委員から、今期の審議を通じた感想が述べられた。

#### 5 区長へ報告書提出

- ・ 区長あいさつ

2年間の真剣なご審議を経て、報告書を作っていただいたことに感謝申し上げます。プラザは場所の制約はあるが、少しでも使いやすい場所にしていきたい。区内には、いろいろな国籍の外国人と、全国おそらく47都道府県出身の方がおり、仕事も様々であり、あらゆる意味で多様なまちである。こうした中、お互いの信頼関係の構築が重要であり、新型コロナウイルス感染症対策も、信頼関係を構築することでより広く検査が進み、感染者数が減少してきている。外国人の日常生活に関するアドバイスなどの情報共有の拠点として、プラザがより使いやすく親しまれる施設となるよう努力していきたい。

#### 6 会長あいさつ

外国人受け入れは、他の国では国に明確な方針がありその中で自治体や市民団体が活動するのが通常だが、日本では国の方針が不明確な中、現場が多文化共生の取組を担ってきた。しかし、2018年暮れの出入国在留管理法の改正に伴い、共生のための総合的対応策が示され、国においても外国人を生活者として支援するという状況に変わった。こうした中で、新型コロナウイルス感染症の問題が起きた。これからどうなるかわからない中で日本人外国人ともに大変な状況にあり、これからの正念場となるだろう。

この2年間を振り返ると、委員全員が常に新宿を良くしていくためにという気持ちで議論してきたので、非常に難しい問題を扱ってきたにも関わらず、建設的な議論をしていただいたことに感謝する。

今後の日本には外国人の方々の力が欠かせない中、この場のような、住民の方々がどうしたらよいかを議論できる場ができていくことが、理想である。

#### 7 事務局から

#### 8 閉会